

## 日本都市センター主催 第14回CR-1グランプリで最優秀賞を受賞！

（公財）日本都市センターが主催するCR-1グランプリで、とよなか都市創造研究所・比嘉康則研究員が執筆した「豊中市における地域づくりと健康づくりに関する調査研究—社会的処方視点の視点をふまえて—（健康と都市政策）」が最優秀賞を受賞しました。

この研究は、地域づくりと一体となった健康づくりを進めるなかで注目されている「社会的処方」という考え方の可能性や課題、実践への落とし込み方などについて検討し、健康部門だけではなく複数の部署が連携した健康増進の取組みの推進に向けた基礎資料を示しています。

なお、今回の受賞は第12回グランプリにおいて最優秀賞を受賞して以来、2度目の受賞です。

さらに詳しく👉

（研究内容について）

・機関誌「とよなか都市創造 2023 vol.1」p107～158

[とよなか都市創造 vol.1 \(tium-toyonaka-osaka.jp\)](http://tium-toyonaka-osaka.jp)

（グランプリの概要について）

・日本都市センターホームページ CR-1 グランプリ

<https://www.toshi.or.jp/grandprix/18700/>

・第14回都市調査研究グランプリ（CR-1 グランプリ）結果概要

<https://www.toshi.or.jp/app-def/wp/wp-content/uploads/2023/04/senko14.pdf>

日本都市センターでは、全国の都市自治体で行った調査研究を募集し、優秀な事例を紹介するCR-1グランプリを2010年度から実施しています。令和6年（2024年）1月23日に表彰式を予定し、表彰事例はセンターHP及び機関誌「都市とガバナンス」で紹介されます。